

## 令和4年度 科学研究費助成事業 実施研究課題一覧

No	種目	氏名	職	新規 継続	研究課題
1	基盤研究(A)	征矢 英昭	教授	継続	運動が海馬機能を増強するメカニズムの統合的解明：動物からヒトへの橋渡し研究
2	基盤研究(A)	西保 岳	教授	新規	次世代熱中症対策研究：ヒト特有の換気亢進の意義解明と新予防法開発
3	基盤研究(B)	菊 幸一	教授	継続	公共性の歴史社会学的観点からみた民間スポーツ組織の統括性に関する日欧比較研究
4	基盤研究(B)	高橋 英幸	教授	継続	運動後の筋グリコーゲン回復に影響を及ぼす要因の解明：効果的な栄養戦略立案に向けて
5	基盤研究(B)	大藏 倫博	教授	継続	アミロイドβで検証するマルチタスク運動の認知症予防効果：2年間ランダム化比較試験
6	基盤研究(B)	高木 英樹	教授	継続	水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明
7	基盤研究(B)	藤井 直人	助教	継続	ヒト熱放散反応における TRP チャネルの役割解明 - 熱中症予防法確立を目指して -
8	基盤研究(B)	浅井 武	名誉教授	継続	スポーツボールの飛翔軌跡、非定常流体力、及び渦構造の解明と展開研究
9	基盤研究(B)	藤井 範久	教授	継続	ハムストリングス肉離れの発生に関与する筋構造と走動作の特徴
10	基盤研究(B)	小池 関也	教授	継続	両手操作型用具を介する跳・投・打動作の動力学的貢献分析によるコツの抽出と検証
11	基盤研究(B)	坂入 洋右	教授	継続	ハイ・パフォーマンスのための"包括的心理状態"の個別最適化
12	基盤研究(B)	酒井 利信	教授	新規	日欧対話による国際的「生涯武道論」の構築と指導者養成プログラムの開発
13	基盤研究(B)	小野 誠司	准教授	新規	アスリートにおける「能動視覚」の機構解明とバイオマーカーの開発
14	基盤研究(B)	松井 崇	助教	新規	運動が引き出す脳グリコーゲン超回復の神経-グリア連関機構とその意義
15	基盤研究(B)	佐藤 貴弘	教授	新規	体育および保健における外国人児童生徒等のインクルーシブ教育の実現に向けた PD
16	基盤研究(C)	本谷 聡	講師	継続	中学校における生徒の主体的活動を促す運動プログラム開発
17	基盤研究(C)	清水 紀宏	教授	継続	子どもの貧困と体力・スポーツ格差に関する実証的研究
18	基盤研究(C)	鍋倉 賢治	教授	継続	マラソントレーニングにおける「高強度+持続走(ガチユル走)トレーニング」の効果
19	基盤研究(C)	小野 誠司	准教授	継続	眼球運動と脳波計測を用いたアスリートの視覚認知能力の評価法の開発
20	基盤研究(C)	河合 季信	准教授	継続	3D 測距センサーを用いた下肢のケガ発生リスク予測に関する研究
21	基盤研究(C)	深澤 浩洋	教授	継続	シティズンシップ教育を担う体育の原理の探究
22	基盤研究(C)	RAKWAL RANDEEP	教授	継続	PACAP による神経保護および神経軸索再生メカニズムの解明
23	基盤研究(C)	木内 敦詞	教授	継続	大学生アスリートのキャリア成熟に影響を及ぼす要因の抽出
24	基盤研究(C)	渡部 厚一	准教授	継続	高齢者の認知機能や呼吸機能に水中運動は陸上運動より有用か？
25	基盤研究(C)	中込 四郎	名誉教授	継続	"こころの推進力"の様態からみたアスリートの心理的問題の類型化
26	基盤研究(C)	池田 英治	助教	継続	競技スポーツにおけるコーチングと集団レベルの心理的変数に関する実証研究
27	基盤研究(C)	前村 公彦	准教授	継続	形態的・体力的特性に応じたオーダーメイド型疾患能力向上プログラムの開発
28	基盤研究(C)	岡部 雅大	助教	継続	素早く正確な運動にみられる両眼眼球運動と頭部運動の時空間的協調性の解明
29	基盤研究(C)	會田 宏	教授	継続	球技における「ホリスティック・コーチング」に関する実践知の解明
30	基盤研究(C)	角川 隆明	助教	継続	身体各部位に働く流体力評価による泳動作の推進機序の解明
31	基盤研究(C)	本間 三和子	教授	継続	アクアティクススポーツ競技における肢間協調能力の特徴について
32	基盤研究(C)	内山 治樹	教授	継続	チームスポーツにおける競技力の形成と向上を支える仕組みの究明
33	基盤研究(C)	長谷川 聖修	名誉教授	継続	姿勢固定化を防ぐ環境づくりの試み-動的な座位姿勢のすゝめ-
34	基盤研究(C)	坂本 昭裕	教授	継続	自然体験療法における発達障害児の社会性機能の獲得が自己形成に及ぼす影響の検討
35	基盤研究(C)	渡邊 仁	助教	継続	「ウィルダネス」環境下における野外教育プログラムが体験者の自我再構築に及ぼす影響
36	基盤研究(C)	斎藤 卓	助教	継続	鉄棒運動における「つまづき」をなくすための運動アナログの開発と体系化
37	基盤研究(C)	林野 淳	名誉教授	継続	Buytendijk の「機能」概念導入によるスポーツ技術分析研究法の構築
38	基盤研究(C)	田中 喜代次	名誉教授	継続	中年肥満者への減量介入が20年後のフレイル予防にもたらす効果
39	基盤研究(C)	榎本 靖士	准教授	継続	慣性センサーとAIを用いたランニングフォームの評価・診断方法の開発
40	基盤研究(C)	仲澤 眞	准教授	継続	プロスポーツ経営におけるファン・コミュニティ育成支援の効果と課題
41	基盤研究(C)	岡本 正洋	助教	継続	運動で高まるストレス耐性の神経機構解明：交差耐性仮説の検証
42	基盤研究(C)	林田 敏裕	特任助教	継続	運動部活動改革の実現要因に関する実証的研究-運動部活動の地域移行に着目して-
43	基盤研究(C)	大友 あかね	特任助教	継続	発達障害児の社会性を育む短期通年型自然体験プログラムの構築：関係発達の視点から
44	基盤研究(C)	大石 純子	准教授	継続	武道思想の近代化に「女性」が及ぼしてきた影響の解明に関する歴史研究
45	基盤研究(C)	柴田 愛	准教授	継続	激増するリモートワーカーの座りすぎによる健康被害を回避するための戦略開発
46	基盤研究(C)	澤江 幸則	准教授	新規	日本版インクルージョン・スペクトラム・モデル(JAIM)の開発
47	基盤研究(C)	嶋崎 達也	助教	新規	ラグビー選手のコンディショニング-先進的センシング技術を活用した心身連関の解明-
48	基盤研究(C)	福田 崇	准教授	新規	頸部筋機能がアメリカンフットボールにおける衝突時の頭部作用に与える影響
49	基盤研究(C)	片岡 千恵	助教	新規	ソーシャルインクルージョンの考え方を重視した性に関する指導の実証的研究
50	基盤研究(C)	清水 諭	教授	新規	スポーツイベント開催の意義に関する研究
51	基盤研究(C)	河合 季信	准教授	新規	ショートトラックスピードスケートにおける失格発生メカニズムの解明
52	基盤研究(C)	中村 剛	准教授	新規	体育・スポーツ指導者に求められる処方能力の解明と養成方法の構築
53	基盤研究(C)	本谷 聡	講師	新規	高等学校の体づくり運動における生徒の主体的・対話的活動を促す運動プログラム開発
54	基盤研究(C)	グレニエ フランソワ	研究員	新規	identifying and strenghtening the neural circuits of positive motivation
55	挑戦的研究(萌芽)	酒井 利信	教授	継続	東欧における武道の教育力による国際開発
56	挑戦的研究(萌芽)	佐藤 貴弘	教授	継続	性に関する指導のピラーに焦点を当てた教師教育オンラインプログラムの開発
57	挑戦的研究(萌芽)	浅井 武	名誉教授	継続	新型コロナ環境下の身体運動における感染リスク評価システムの開発とその展開
58	挑戦的研究(萌芽)	西嶋 尚彦	教授	継続	深層学習による動作技能の達成度評価方法の解明
59	挑戦的研究(萌芽)	坂入 洋右	教授	継続	心身のコンディションの個別最適化を可能にするセルフメイド型ケアシステムの開発
60	挑戦的研究(萌芽)	高木 英樹	教授	新規	先端的ヒューマンセンシング・フィードバック技術を用いた新たな水泳指導法の開発
61	挑戦的研究(萌芽)	高橋 英幸	教授	新規	筋・腱弾性を指標としたタレント発掘基準の策定：新規ミオトノメーターの有用性の確立
62	挑戦的研究(開拓)	松井 崇	助教	継続	進化運動生理学の創出：ロコモーションの収斂進化に基づくトレーニング・運動処方革新
63	若手研究	神藤 隆志	特任助教	継続	勤労者の身体活動とコミュニケーションを高めるオフィス環境：自然の実験による検討
64	若手研究	田 暁潔	PD	継続	変容する牧畜民マサイの「野生動物観」とその生成：子どもと若者の日常経験に着目して
65	若手研究	辻 大士	助教	継続	高齢者の「みる」「ささえる」スポーツの普及促進を目指す大規模縦断研究
66	若手研究	松尾 博一	助教	継続	地方創生に資する参加型スポーツイベントの社会効果発生機序
67	若手研究	山渡 夏紀	助教	継続	力学的な動かしやすさに対する人間の適応をアスリートの身体から探る
68	若手研究	佐崎 雄大	学振特別研究員	継続	慢性ストレスおよび抑うつ状態は運動時ヒト海馬活動のパラッキを生むか？
69	若手研究	Kim Satbyul Estella	助教	継続	A Nationwide Health Risk Assessment of PM2.5 Exposure by Examining the Regional Concentrations-Response Relations in a Population-Based Epidemiological Study in Japan

No	種目	氏名	職	新規	研究課題
				継続	
70	若手研究	土橋 祥平	研究員	継続	成長期の運動不足は認知症発症リスクを高めるか？
71	若手研究	増地 克之	准教授	新規	女子柔道選手の競技力向上を担うトレーニング法に関する研究
72	若手研究	奈良 隆章	助教	新規	ADDIE モデルによるライフスキル獲得を促す大学体育授業の開発
73	若手研究	小崎 恵生	助教	新規	運動誘発性の心腎連関とその病態生理学的機序の解明
74	若手研究	中山 紗織	特任助教	新規	ゴール型球技の小学生年代における「個の育成」に関する研究
75	若手研究	神藤 隆志	特任助教	新規	スポーツ実践の健康効果を高める方法：制約主導アプローチを用いたテニスの検討
76	若手研究	白井 隆長	研究員	新規	運動様式特異的なエクサカインの機能解明とその応用
77	若手研究	永田 真一	助教	新規	精神障がいのある人の社会参加を高める余暇活動を通じた介入方法の効果検証
78	若手研究	金 多允	特任助教	新規	内反膝における腸脛靭帯炎の発生メカニズムの究明
79	若手研究	下竹 亮志	助教	新規	日本社会における根性論の系譜学的研究：スポーツ・学術・経済の諸言説に着目して
80	若手研究	尹 之恩	研究員	新規	団塊世代を認知症から救う認知機能低下の変曲点の探索
81	研究活動スタート支援	永田 真一	助教	継続	Developing an Activity-Based Intervention to Improve Ikigai for Individuals with Serious Mental Illnesses
82	研究活動スタート支援	加治木 政伸	研究員	新規	ヒトの熱放散反応に対する TRPV3 チャネルの役割検討－熱中症予防策の確立に向けて－
83	研究活動スタート支援	船橋 大介	研究員	新規	一過性運動後の身体活動の減少を抑える運動法の開発：断続的な運動形態に着目して
84	研究活動スタート支援	古賀 大樹	研究員	新規	クロール泳における推進力の最大化に効果的な全身の動作タイミングの解明
85	研究活動スタート支援	広野 泰子	研究員	新規	進行方向の変更を伴う曲走路をヒトが速く走るための動作の解明
86	特別研究員奨励費	平賀 大一	DC1	継続	低強度運動で高まる海馬可塑性の神経基盤：ドーパミン作動性神経の関与
87	特別研究員奨励費	松井 公宏	DC1 → PD	継続	CKD 患者における運動の抑うつ改善効果とその機序の解明：FGF21 に着目して
88	特別研究員奨励費	桑水 隆多	DC1	継続	超低強度運動による実行機能向上の生理機構：ドーパミン作動性神経系の関与
89	特別研究員奨励費	近藤 衣美	PD	継続	ケトン食及び間欠的絶食を応用したアスリートの新規減量方法の確立
90	特別研究員奨励費	山崎 雄大	PD	継続	3つの脳相互作用から有酸素性運動の効果を紐解く
91	特別研究員奨励費	田 暁潔	PD	継続	社会化プロセスとしての子どもの身体発達：学際的なフィールド調査に基づいて
92	特別研究員奨励費	吉岡 将輝	DC2	継続	保存期 CKD 患者におけるカルシプロテイン粒子が筋力に及ぼす影響
93	特別研究員奨励費	森 翔也	DC2	継続	中高齢者における実践的な心疾患予防策の構築：座位行動削減の有効性の検証
94	特別研究員奨励費	秦 俊陽	DC1	継続	ビタミン B1 誘導体による活動意欲促進の神経基盤：行動神経科学的検討
95	特別研究員奨励費	土橋 祥平	研究員 (PD →)	継続	低酸素トレーニングの効果を引き出す骨格筋エピジェネティクス
96	特別研究員奨励費	内沢 彰子	DC2	新規	女性アスリートのエネルギー代謝適応における生理機能の解明
97	特別研究員奨励費	SEOL JAEHOON	外国人特別研究員	継続	高齢者の睡眠障害の改善を介して認知機能に好影響を与える運動強度の解明